

○コミュニティづくりについての意見

58・1、コミュニティづくりについての各町会長へのアンケートへ寄せられた意見を次ぎにあげてみる。

- (1) 講習等の講師を市で登録し、必要の際は派遣してほしい。
- (2) この制度を機会に、町会活動は一層活況になる当を得た制度である。
- (3) コミュニティ活動の中心になる会場がほしい。
- (4) 一町会一律二万円の部の助成は検討を要する、実態に即して交付したらどうか。
- (5) コミュニティづくりは町会活動の根本である。
- (6) 市町連の音頭で、除排雪デーを設け、市民総動員の除雪活動をしてはどうか。
- (7) 青森県の作成したコミュニティづくりは、具体性がないので、町会連合会がアンケート調査の回答資料ができれば、それにより討議した方が効果的である。
- (8) 新興住宅地としての当町会にとって、非常に有意義な制度である。以上は主なる意見である。

昭和五十七年度コミュニティ実施報告書を提出し、補助金の交付を受けた町会数は三三四町会で九八・五％である。未提出は五町会で(中部地区四、南部地区一)である。繁華街や飲食店街は、それぞれに困難な事情もあり、町会長も頭を悩ましているようである。

○リサイクルについての打合せ会

昭和五十八年度より全市的にリサイクル運動をすすめることになった市では、今迄のモデル団体(二〇団体)と業者代表一名と会合をひらいた、実施団体代表の参考意見等をきき、これからの実施に備えることになった。ことしから清掃二課が主管することになった。

○記念事業合同実行委員会

市制施行八十五周年記念式典と青森市町会連合会創立三十周年記念式典と合同で式典を挙げる関係上、市側と合同の実行委員会となった。第一回の会合は、大筋の基本的な事項を話し合った、大体、名称は青森市町会連合会創立三十周年、青森市市制施行八十五周年合同記念式典、日時は十月十一日頃、時刻は、午前十時頃からの予定である、会場は市文化会館(確定)

三十周年記念式典の表彰者について

表彰町会長については、当会創立以来勤続(現在まで)の町会長を対象に調査をすすめているが、調査洩れがあっても困るので、一応該当すると思われる方は、事務局まで、ご連絡くだされば幸甚です。

○冠婚葬祭合理化への意識調査

~~~~~実施はしたいが勇気が必要~~~~~

一月アンケート(町会長対象)をまとめたら、次のような結果になった。

- (一) 実施している(完全でないものも含めて) 三三町会
  - (二) 実施していない 二一九町会
  - (三) 未提出(無回答) 八七町会
- (回答率七四・三%)

未提出の町会は恐らく実施していない町会と思われる、実施していない町会の内、二九町会は悲観的で、合理化は困難であると答えているが、他はできれば、実施したいという気持が強いようである。次のような意見がよせられている。

1. 実際は全市的なので、全市的に実施すべきだ。
2. 年月かけても継続的なPRが必要である。
3. 献花ポスター等のPRパンフレットがほしい。
4. とにかく是非実施してほしい。
5. 実施は困難である。
6. 非常に困難だができるものから徐々に広げてほしい。
7. 町内の婦人団体の協力がなければ不可能だ。
8. 町会幹部の家庭から実施するのが効果的である。
9. 香典返しは廃止すべきだ。
10. 県下一丸となってやらねば困難、お布施の標準額がほしい。
11. 葬祭時、寺への納付金を一定するよう推進してほしい。
12. 合理化PRのポスターを当行し、推進すべきである。
13. 結婚披露宴は会費制を推進してほしい。
14. 各自の商売もあり合理化は無理である。
15. 民間の団体、グループの盛り上げをすすめるべきである。
16. 町会連合会としてとり上げることに矛盾を感じる。
17. 葬祭の場合、特に合理化は必要である。

○地区交通安全パレード助成金交付

昭和五十八年度も地区交通安全パレード助成金として、市より拾万円交付されることになった。実施地区へは当会より六、〇〇〇円交付の予定。

○世帯数と町会長異動

昭和五十八年度の町会名簿記載の世帯数は、五月一日現在の世帯数になります。五十八年度市のコミュニティ助成金の基準となる世帯数は、五十七年度と同じ世帯数で申告してください。近日中名簿作成資料をお送りしますからご記入の上ご返送ください。それ迄に各町会長の異動は完了してほしいと思います。

